

最終日は1組「卵の殻からチョークをつくる」と3組「持続可能なまちづくり」の発表でした。実際に自分たちで考えたことを行動に移し、実践してみたことを動画や劇、プレゼンテーションで発表をしてくれました。



以下、生徒たちの感想です。

1組

●劇やクイズ、動画を通して自分たちに身近な卵の殻の捨てる以外の道を知ることが出来た。●卵の殻から色々なものができるとの今回知ることが出来たのでこれから自分でもそのような商品があったら買うなどして貢献していきたいです！●卵の殻で作ったチョークには失敗もあったと聞き、うまくできなかったとしても諦めずにトライし続ける姿勢が素敵だなと思いました。●卵の殻から作られた商品には、どのような特徴があるのかも調べてみたくなりました！●卵の殻がそんなにリサイクルされているを知らなかった。卵の殻は捨ててしまうことも多かったため、作り方を調べて今度実践してみたいと思った。●これから卵を使う時に殻について今までよりもうちょっと「もったいないな」「なにかに使えないかな」という意識が浮かび上がると思う。

3組

●地域の輪が広がる感じを肌身で感じました！街づくりに繋がる素敵な取り組みだったと思います。●ゴミのポイ捨てとフリーマーケットのどちらの活動も、学校を飛び出して地域で活動していたり、新聞で告知したりして今まで知らなかった街の人の声や、地域の現状を知れて面白かったです。●地域のためになることを高校生でも実際アクションできるということを学べた。●同じ目的に向かっていても活動の仕方は様々でいろんな方向から解決に取り組むことができるのだと感じました。●自分も環境についてもっと知りたいと思ったし、自分ができることを少しずつやっていきたいと思いました。●高校生だからこそできること、それを考えて校内だけでなく、地域中にまでSDGsについて考える機会を設けさせ、繋がることで世界中にまで広げられるようになるのではないかと感じられる発表でした。●学校内にとどまらず社会を巻き込んだ取り組みになっていて、TRY&ACTの目指す姿だと思いました。●地域仲を良くすること、物を大切にすること、ゴミを減らすことなど色々なことに良い影響を与えるアイデアだなと感じ、すごいと思いました。